



善正寺だより

〒:512-0902
 三重県四日市市
 小杉町1014
 浄土真宗
 本願寺派
 善正寺
 TEL:0593-31-1670
 FAX:0593-32-0733

掲示板法話

目・耳・心を総動員する

傾聴の姿こそ 人間性回復の道

現在、全国の新聞紙上で連載中の小説『親鸞…完結編』は、いよいよ佳境に入ってきました。晩年の親鸞聖人のお姿、生活ぶりがリアリティ豊かに描かれています。特に、関東から聖人を慕って来て生活を共にする唯円さんとの対話は、のちに編纂・執筆される「歎異抄」につながっていくようで、大変興味深いものがあります。

真偽のほどは定かでないのですが、京都・西洞院の住まいには長男・善鸞夫婦も同居しているという設定で小説は展開します。善鸞の妻・涼と唯円の間には微妙な男女の感情が生じて唯円は苦悩し、聖人に自分の煩悩の深さを吐露して、苦しみを打ち明けます。唯円の話をするはずきつつ聴いておられた聖人は、怒ることもたしなめることもせず、「関東に帰るほかはない」という唯円の願いを静かに微笑みながら受け入れるのでした。唯円は一旦関東に戻るとしても、再び関東での大騒動を機に聖人の元へ戻る事になるでしょう。今後の展開が楽しみです。先日京都で「青少年問題を語る」という宗教学者・山折哲雄先生の講演を



聞かせて頂きました。現代の若者は、「さとり世代」「カースト・スクール」というキーワードで特徴づけられる。「さとり世代」とは何か？車など贅沢に無関心、お金にも無関心、恋愛にも淡泊、新聞や本を読まず、もっぱらネット情報収集をする、ということ。「カースト」とはインドの階層制のことですが、それが現代の我が国の若者たちの間、学校にも広がっているといえます。ギャラと呼ばれる上位に位置する活動的な子、普通の子、ダメな子という階層ができていて、それを変えようとする上昇志向も競争も乏しい。気味の悪いような重苦しさの下で、陰湿ないじめや人間性を完全に喪失したような凶悪犯罪が生まれる。

高度成長期に社会に出て、豊かな成熟社会の果実に預かってきた団塊世代など中高年には理解し難いようなことがこの国で起こっているのは、なぜなのか？
 山折先生は「情性欠如」という凶悪事件の精神鑑定で使われた言葉をあげて、建前だけの「善悪、正邪」で論評し、裁くのはうそっぱいと言われる。

温かい「情愛」のこもった人間関係の再生を願い、教育や子育て問題において、宗教者や仏教徒の奮起を呼びかけられました。

親鸞聖人と唯円の対話はまさに、建前だけでなく本音で語り合う姿を彷彿とさせます。唯円の胸の内を聴く聖人のお姿は、「傾聴」という言葉そのものです。傾聴」という漢字は、耳と目と心を総動員して初めて「聴く」ということを表しています。

報恩講は、改めて「親鸞聖人に出会う」チャンスです。「傾聴」の心を取り戻し、心豊かに生かされる契機にさせて頂きたいと思えます。

☆行事ご案内☆

『報恩講』

11月2日(土) 午後1時半・夜6時半

3日(日) 午前10時

講師 藤大慶先生 (京都市るんびに園理事長)

お非時(昼食) 接待: 2日午前11時~12時

2日夜7時半、琴の演奏・歌、家族お揃いでどうぞ

◇キッズサンガ11月2日(土)夜7時半「報恩講」参拝、琴・歌。毎夕5時の鐘つき、年中無休

善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索。トップページの左欄「善正寺だより」をクリック、ファイルを開くと1年分の寺報が見られます。毎日更新の「住職と坊守のつれづれ日記」が大好評。

開設5年3か月で12万3千訪問、一日平均100程、コメント大歓迎、

◇『一縁会テレホン法話』059・354・1454へ

※三重組コーラス 11/22京都西本願寺御堂演奏会参加、11回目

※親鸞聖人750回大遠忌法要が平成28年5月15日に決定!

※来年4月19日午後「初参式」を受ける赤ちゃん、幼児を大募集

◇百五銀行阿倉川支店ロビー展「第3回善正寺門徒展」

10月末日まで開催中、作品は続いて報恩講で本堂にも展示

◇秋勤進11月23日午前8時より行事さん巡回、よろしく



鐘つき後合掌する子供達
 9/22小杉追悼法要



坊守スケッチ

自分の人生を描く『ロスライン』

『ロスライン』って聞き慣れない言葉ですがご存知ですか？人には夫々違った喪失体験があります。大切な人の死別、病氣、離婚、仕事の挫折など様々。

普通人生を振り返るのは、死を宣告された病気になる人か、余命いくばくの高齢者の場合が多い。断片的な思い出に浸ることはあっても、一連の流れとして自分の人生を見つめることは少ない。

『ロスライン』とは、自分の生涯を振り返り年代順に、喪失曲線を描く。楽しかったことは上に、辛かったことは下にカーブする。何度も山あり谷ありの人生が描かれる。山頂と谷底の部分にどんな出来事があったのか書き込む。その図を示しながら、自分の人生を物語風に誰かに話す。すると不思議なことに過去の辛く悲しかった出来事が、私にとって必要な体験だったのだと気付く。

「なーんだ、あんなに大変な出来事も、どこからともなく救いの手が現れ、それに素直に従ったら道が開けた。谷が深ければ深いほど、その後の山に登った喜びは大きい。いつまでもクヨクヨしても始まらない。この先の人生、何が起ころうとも大丈夫！何とかなる！」

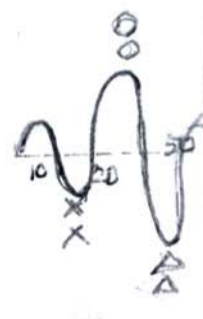
先日ある会で、ロスラインを描きながらお互いの人生を語り合う機会があった。赤裸々に自分の過去を語ることは勇気がいる。しかしそこは知らない者同士の強み。何を話そうとも持ち帰

って噂になる心配はない。全てをありのままに話し終えた後の解放感はどこから生まれるのだろうか？心が軽くなったような感激だった。坊守といえども、悩みは尽きない。他人の悩みを聞かせてもらうことはあっても、自分の悩みの解決はどうする？聴聞を重ねて仏法に拠り所を求めればよいと言われるが、そこに至るまでの悟りはない。誰かに聞いて欲しい思いは同じだ。

ロスラインで人生を語り合う手法を、お寺の活動に取り入れられられないかと思つたが、問題点が多い。法座後の質問の場で、個人的なことを聞きたくても、恥ずかしさや世間体があつて聞きにくい。一対一ならば話しやすいが、それも不可能。このような寺の現状で、私にできることはあるのだろうか？

「あなたの悩み、お気軽に何でもご相談下さい」と、寺報やホームページで訴えてきた。少しずつではあるが、メールで手応えはある。相手が本当に心を開いてくれるようになるまでには、遠い道のり。でも悩みを抱えた人がロスラインを描き、じっくりその悩みを聞かせてもらい、悲しみに寄り添う坊守になりたい。

従来は大切な人の死を、縁に、葬儀や中陰法要、年忌法要などがあつたが、近年それが軽視傾向にある。仏事に代わる新たなグリーフケア(悲しみのケア)を模索しなければならぬ。それには



日頃の人の縁を大事にする活動こそが、心を開くカギになる。今日も夕方の子供の鐘つきの声が境内にこだまする。『縁の力』の新たな一歩にしたい。

Eさんのいいもの紹介

元門徒総代の伊崎栄一氏の今月おススメの一句は、松尾芭蕉の俳句
 ☆もの言えば 響きし 秋の風
 この句に前書きあり。

☆人の短を 言うことなかれ 己が長を説くことなかれ

※人間の目は外に向けてついているために、とかく他人の短所が目に入り責めるが、自分の欠点には気付かず、逆に自分の長所を自慢する。心の内を照らして下さるのは仏様の鏡だけ。聴聞を重ねて仏様の鏡を持つ(坊守)

♪三重組コーラス♪

☆11/15夜西勝寺様報恩講演
 ☆11/22京都西本願寺「御堂演奏会」バス小杉7時25分発、桜8時連続11回目の参加。

キッズサンガ・杉の子合唱団

夕方5時の鐘つきは年中無休。ご褒美当り付きガム。誰でも撞けるよ
 ☆11月2日(土)夜7時半、報恩講演の席、琴演奏、歌など、お母さんと一緒に参り下さい。

☆カンパ有難う☆

赤井淑子様、小西あき枝様、御志や切手頂戴しました。

ホットニュース

☆百五銀行阿倉川支店で十月一か月間「第三回善正寺門信徒展」開催中！写真、絵、書、陶芸、刺繍など、今年も皆さんの力作や子供の習字など展示。買い物ついでに阿倉川駅前支店にぜひ一度お立ち寄り下さい。作品は報恩講中、本堂に展示されます。

☆11月23日(土・祝)午前8時より行事さんが手分けして秋勧進に巡回します。ご協力よろしくお願ひします。

☆報恩講終了後、本堂屋根一部西面、内陣天井等の修理工事に入ります。しばらくの間ご不便をおかけしますが、よろしくご了承下さい。

☆来年(平成26年4月19日(土))午後初参式を受ける赤ちゃん、幼児を大募集！三全仏婦主催。会費千円。お悔やみ申し上げます

★館 習智代機(10月1日・81歳)

寄稿 四日市市 川崎孝一

○門徒展老若男女其々に 豊かな個性店頭飾る

○慈雨享けて南瓜は蔓の巻鬚を 翳せば丸で八岐大蛇

○夕刻も夜半も暑熱の引かずして 結局朝が涼む頃合い

○朝顔は酷暑・酷熱・炎暑にも 平然と咲く沖繩産まれ

☆編集子より☆ 「善正寺だより」二二九号をお届けします。◇昨今は秋らしい気候を余り感じません。実りの秋への謝念薄らぐ悲しき痛感。報恩講の秋、共々聴聞を！

食破の秋です。先日学校給食のパンに小バエが混入して除去して安全を確認してから食べるのか、全てを捨てざるも大騒ぎになりました。その後糸くずや髪の毛でも大量の給食を廃棄するという異常事態に発展。余波は他府県にも広がり、除去したら食べられるのに廃棄が相次ぎました。神経過敏な生徒は、食事中虫採した、果たして無菌状態で育てるのが健全なのか、虫むつかないように農薬を使った野菜を食べさせるのが安全なのか、冷静に考える必要もあります。先進国では食品が溢れ大量に捨てられる一方、途上国では飢餓で苦しんで死んでいく人が大勢います。世界で生産される食料の約半分20億トンが廃棄処分。思わず「モッドナイ」と絶叫！

「今や冷蔵庫は家庭の墓場。ものすごい量の食糧が死んでいる」と指摘した人がいます。賞味期限や異物混入で潔癖症になる余り、食べられるのに捨てる実態、どこかおかしいと思いませんか？ NHK朝ドラ「ごちそうさん」が始まりました。日ごちそうさんとは日ご馳走さんと書きもせず、私の口元に運ばれるもので、どれだけ多くの人の汗とご苦労があったのか、お金を支払っているのだから当たり前と思つてはなく、それらの人々のおかひに感謝していただきますよう、十一月は二日・三日「報恩講」に特に二日午前十一時よりお非時を用意します。ぜひお参り下さい。皆様の御越しを大歓迎します。合掌

平成二十五年十一月 善正寺坊守 拜